

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書P.28 23-7 耐震補強用鋼板の架設 A	耐震補強用鋼板の架設 A の適用基準について、①NEXCO土木工事積算基準、または②ピアーリフレ工法 設計・施工マニュアル (柱状体圧入協会)のどちらか、ご教示願います。	②を想定しております。
2	金抜設計書番号45 耐震補強用充填工 A	耐震補強用充填工Aの単価表に含まれるのは、圧入部のモルタル充填のみと考えればよろしいでしょうか。また、上部補強鋼板のモルタル注入はどこの単価表に計上するか、ご教示願います。	耐震補強用充填工Aの単価表に含まれるのは、圧入部と地上部のモルタル充填となります。
3	特記仕様書P.40 23-19 率計上工事に関する事項	23-19-3種別における【区分内容】の記述に『単価表の番号(1、4～14、16、27、35～77、85～89)の金額の合計に10%を乗じた金額相当』とありますが、この金額には割掛工事費が含まれるのでしょうか。それとも目的物工事費のみでしょうか、ご教示願います。	割掛工事費も含まれるものとお考えください。

4	特記仕様書P. 20 2 3 - 2 2 構造物掘削	2023年4月11日に開示されました質問回答⑥のNo. 2において『余掘及び裏込めに関する費用は単価項目に含まれます。』とありますが、これに対する明確な数量のご提示はありません。数量を応札者が算定する場合の余掘り量および裏込め量は、工事積算基準_第17編_鋼橋工_4. 人力掘削による場所打ちコンクリート杭における『余盛量 α 』を基に計算・計上すると考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	余掘り量および裏込め量の数量は、工事積算基準_第17編_鋼橋工_4. 人力掘削による場所打ちコンクリート杭における『余盛量 α 』による算出を想定しております。
5	特記仕様書P. 24 2 3 - 6 6 落橋防止構造	単価項目：P-a(b)及び鋼製ブラケットA～Cにおけるアンカーボルト、上下部工ブラケット、落橋防止構造、箱桁補強部材の製作について、工事積算基準_第15編_鋼橋工_3 鋼構造物の製作における大型部材、小型部材、一般鉄骨構造のうち、どの構造物を想定されていますでしょうか、ご教示願います。 仮に、大型部材、小型部材を想定されている場合、以下の形式となる対象橋梁に対しては該当基準がありませんが、鋼橋のどの形式を選択すればよろしいでしょうか、ご教示願います。 金田高架橋 P1-P8：PC7径間連続中空床版橋 P8-P15：PC7径間連続中空床版橋 小櫃川第一橋 A1-P3：PC3径間連続中空床版橋 P8-P13：PC5径間連続中空床版橋 岩根西高架橋 P16-P21：PC5径間連続中空床版橋 P21-P27：PC6径間連続中空床版橋 北内房線橋 PC単純ポステンT桁橋	一般鉄骨構造を想定しております。
6	特記仕様書P. 37 2 3 - 1 1 6 横変位拘束構造	単価項目：A～B6におけるアンカーボルト、上部工ブラケット、横変位拘束構造の製作について、工事積算基準_第15編_鋼橋工_3 鋼構造物の製作における大型部材、小型部材、一般鉄骨構造のうち、どの構造物を想定されていますでしょうか、ご教示願います。 仮に、大型部材、小型部材を想定されている場合は、上記の質問事項と同様に、鋼橋のどの形式を選択すればよろしいでしょうか、ご教示願います。	一般鉄骨構造を想定しております。